

新型コロナウイルス感染症クラスター（5事例目）について （第3報）

三重県内で発生した5事例目のクラスターについて、9月4日時点の調査状況を報告します。

1 県内5事例目のクラスターの概要

令和2年8月、鈴鹿市内の特別養護老人ホーム 伊勢マリンホームで発生したクラスターで、三重県内では5事例目となります。

施設職員および入所者から陽性者が複数判明していることから、施設内で感染が広がった可能性が考えられます。

2 調査状況

このクラスターでは、8月29日に陽性が確認された県内延べ368例目の接触者調査を行ったところ、同一施設内で12名（368例目：職員、370～380例目：施設入所者）の陽性者が確認されています。

9月1日に、このクラスターで特定している検査対象者167名（施設職員等77名、入所者90名）全員の検査が終了し、陽性12名、陰性155名となりました。

健康観察を行っている中で、発熱等の症状があった2名について、9月3日に改めてPCR検査を実施したところ、陽性が確認され、当該施設における感染者については、陽性14名、陰性153名となりました。

現在の施設に係る感染者の状況は下表のとおりです。

カテゴリー	検査対象者	検査済数			未検査	検体採取済 及び 本日 採取予定
			陽性数	陰性数		
施設職員等	77	77	1	76	0	0
入所者	90	90	13	77	0	0
合計	167	167	14	153	0	0

※上記は人数であり、検査を行い陽性となった際は陽性数に計上しています。

3 今後について

接触者については、引き続き保健所が健康観察を行います。

※報道機関の皆様へ

本患者様およびその他ご関係者様の人権の尊重および個人情報保護、勤務先等の風評被害防止について、ご理解とご配慮をお願いいたします。